



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立115年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和5年11月号

令和5年11月30日発行

個性で彩る31の夢

崎原小中学校 校長 鐘 謙治

私が崎原校に赴任して1年半が過ぎました。その間、「子ども一人一人を大切にできる教育」を目指してきました。その成果が少しずつ見られるようになり嬉しく思います。右上に掲げてある児童生徒会のスローガンもそういった想いや願いが反映されている素晴らしいスローガンです。

昔は、校則に基づき、全員同じ服装、同じ髪型。一律にそろえることが美德とされ、それに反発するのが中高生だったように思えます。私も中高生時代は、尾崎豊を聴きながら、学校や社会への反発をバネに頑張ってきました。校則は守るもの。守らなければ何らかのペナルティがあったものです。私が通っていた中学校では、男子は坊主頭となっておりまして、髪が長くなると生徒指導室に呼ばれ、パリカンで髪を刈られた同級生がいたのを覚えています。

しかし、現代は全く異なります。令和4年12月に改定された生徒指導提要にはこのように書かれています。

～生徒指導の目的～

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

つまり、個性の発見と個性のよさや可能性の伸長を支えることが重要な時代となったのです。昔のように、一律に指導する時代は終わり、一人一人の個性を大切にできる時代になったのです。

校則に関しても大きな変化がありました。校則に関しては、基本的に見直すこととなりました。そして、校則の見直しの過程に児童生徒自身が参画することが明記されています。今年度の新児童生徒会もこの校則の見直しにはとても意欲的です。きっと校則の影響や根拠を考えながら作成してくれると思います。

このようなことから、本校が掲げる「一人一人を大切にできる教育」はとても重要な内容だと思えます。個性を輝かせれば、団体行動は乱れるかもしれませんが、しかし、それぞれの児童生徒がお互いの個性をしっかり理解すれば、多少のことではトラブルは起きません。個性を大切にすれば、いじめや不登校はなくなるのだと思います。もちろん、個性を優先しすぎれば、周りの人に迷惑をかけてしまうこともあるでしょう。ですから、わがままな個性ではなく、周りの人のことをしっかり考えられる力も身につけていかなければなりません。しかし、そういった力は、学校だけでは培うことができません。地域や保護者の方々の理解や支援が重要です。特認校でもある崎原小中学校は、個性の塊です。しかし、人の迷惑になってしまう個性は、いつの日か周りの人に支えてもらえなくなることも事実です。これからは、そうならないような道徳心や協調心も育てていかなければなりません。これからは「みんなから受け入れられるような個性」を育てていきたいと思えます。

学習発表会

11月5日に学習発表会が行われました。今年も多くの方々に来校していただき、とても盛り上がった学習発表会となりました。また、多くの方々からお褒めの言葉もいただきました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

個性で彩る31の夢



音楽発表会



11月8日は、市の音楽発表会が行われました。今年、崎原中学校第12回卒業生の青田かをりさん、瀧田龍也さん、宮原晴美さん、弓削泰代さん、吉田富和さん、米田秀美さんから多額の寄付をいただき、法被を新調させていただきました。カッコいい法被にはあごろ太鼓の演奏がさらに輝いた音楽発表会でした。



背中に「はあごろ」のデザイン

市弁論大会・英語スピーチコンテスト

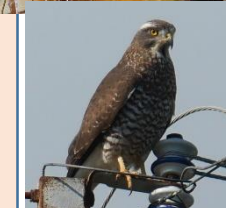
11月14日は、市の弁論大会・英語スピーチコンテストが行われました。弁論は、中2の若松伸太郎さんが、英語スピーチは中3の畠あいさんが発表しました。二人とも堂々と発表し、崎原のよさを伝えてくれました。



サシバ講演会

今年もサシバに関する講演会が行われました。アジア猛禽類ネットワークの山崎さん、岩手大学の東さん、日本自然保護協会の出島さん、奄美野鳥の会の永井さんなど多くの方に来ていただき、サシバについて学びました。

「さしおくん」にGPSを着けて、どのような渡りを行っているか、調査をすることも提案されましたが、子どもたちが「さしおくん」が怪我をしたり、帰ってこなかったりしたら悲しいという意見を聞き、取りやめとなりました。子どもたちのサシバを愛する心に感動しました。



～児童生徒会スローガン～

光

共に笑おう 共に進もう
個性で彩る31の夢

炭づくり

今年も炭づくりの季節がやってきました。11月19日には学校林から木を切り出しました。今年は、参加者も多く、地域、保護者、職員、児童生徒合わせて50人もの参加がありました。木を運ぶのはとても大変でしたが、けがなく終わることができました。11月24日は火入れを行いました。炭になる木をきれいに並べて、粘土で蓋をします。児童生徒が協力して、一つ一つの作業を進めていきました。とても順調に進み、時間内に活動を終えることができました。



その後、毎日数回に分けて薪を入れて、火の調整を行ってきました。11月29日に薪入れを終わり、あとは1か月程度おき、取り出しとなります。その後、皆さんの手元に炭が届くと思いますが、何かと物価高で、学校の活動費が足りなくなっておりますので、今年は、炭代を少し値上げさせていただく予定です。全て、子どもたちのために活用いたしますのでご理解ください。



12月の主な行事

- 5日(火) 自然観察会(小)
- 9日(土) 校内ロードレース大会、学級PTA
- 15日(金) 炭の取り出し
- 17日(日) 家庭の日・市民総ぐるみ清掃
- 22日(金) 終業式・大掃除
- 25日(月) 冬季休業日 日本復帰記念の集い
- 28日(木) 仕事納め



1月の主な行事

- 4日(木) 仕事始め
- 9日(火) 始業式(午前授業)
- 10日(水) 実力テスト(中3, ~11日)
- 13日(土) ふるさと奉仕作業
- 16日(火) 鹿児島学習定着度調査(小5, 中1・2, ~17日)
- 19日(金) 新入生説明会・子育て講座
- 26日(金) ふれあい給食

